

個性について考えてみましょう ～ LGBT ってなに?? ～

6色の虹はLGBTのシンボルで「性の多様性」を表しています。

最近よく耳にするようになった『LGBT』。

LGBTとは、性的少数者の総称の一つであり、「L: レズビアン」、「G: ゲイ」、「B: バイセクシャル」、「T: トランスジェンダー」の頭文字を合わせた言葉です。

近年、社会的に一般用語として認知されてきています。

L

Lesbian

レズビアン

女性同性愛者



G

Gay

ゲイ

男性同性愛者



B

Bisexual

バイセクシャル

両方の性別を好きになる、
または好きになる性別にこだわらない人



T

Transgender

トランスジェンダー

生まれたときの性別と
違う性別で生きる
(生きたい) 人



「いない」のではなく「気づいていない」だけ

日本人の全人口の7.6%がLGBTを含む性的少数者と言われています。

例えば、学校の1クラス40人のクラスには3人いるということになります。

これは、左利きの人の割合や血液型がAB型の人と同じぐらいの割合になります。

皆さんは、今まで自分の周りにはLGBTの方々はいない、会ったことがないという方もいるかもしれませんが、それは「会ったことがない」のではなく、『気づいていないだけ』ではないでしょうか。

多様な個性を認め合える社会へ

「男性が女性を好きになる」、「女性が男性を好きになる」ということが、みんなと同じで数が多いからと言って「自然」や「正常」ではないのです。

みんなと違って数が少ないからといって「不自然」や「異常」ではないのです。

人の性はさまざまで人それぞれで違います。人はそれぞれ違って当たり前です。

その違いを多様な個性の一つとして認め合える社会が、誰もが生きやすいと思える社会です。

まずはLGBTを正しく理解することが第1歩です。



市では出前講座を行っています

市では、学校や職場、地域の集まりなどの場において『すべての人が性別に関わりなくその個性と能力を十分に発揮することができる社会』の実現に向け、LGBT・DV(デートDV)・ジェンダー・男女共同参画などをテーマとした『出前講座』を無料で行っています。

詳しくは市役所企画課まちづくり推進係までお問い合わせください。



▲小学生に出前講座を行っている様子

[担当] 知 企画課 まちづくり推進係